

第一中学校での生活の心得 1、2年生

この「心得」は、市川一中でみんなが気持ちよく、安全で安心して学校生活を送るための、基本的なルールやマナーをまとめたものです。一つ一つの意味をよく考え、節度と思いやりを大切に、品位のある中学校生活をみんなでつくっていきましょう。

1. 登下校

(1) 登校時刻・下校時刻

月	登校時刻	最終下校時刻
4～9	8：20	17：30
10～3	8：20	17：00

- (2) 8：20のチャイムの鳴り始めまでに自席に着席する。ギリギリではなく時間に余裕をもちましょう。チャイムの鳴り始めまでに着席していなければ遅刻となります。
- (3) 諸活動の開始時刻は7：00以降とする。6：50以前には門から中に入らない。また諸活動は必ず顧問が学校にいる状態で行う。
- (4) 一般生徒(部活動・委員会の活動がない生徒)は7:50以降に登校する。
- (5) 自転車通学はできません。
- (6) 用事があって残留するときは、それぞれ学級担任、部、委員会の顧問などの指示を受け、最終下校時刻までには下校する。
- (7) 原則として他学年のフロアには入らない。部活動・委員会などの連絡は顧問を通して、を確認すること。

2. 服装

ブレザー

冬服	<ul style="list-style-type: none"> 学校指定のグレーのブレザーで、第一ボタンを必ず閉める。 ブレザーの袖はまくらない。 ブレザー着用時は、ネクタイを必ず着用する。 	
夏服	<ul style="list-style-type: none"> 白無地のワイシャツ ネクタイは着用しなくてもよい。 ワイシャツは第1ボタンのみあけてもよい。 	
夏冬	<ul style="list-style-type: none"> ネクタイを着用する場合、ワイシャツの第一ボタンまで閉める。 長袖のワイシャツはきれいに折りたたんで短くしてもよい。 ワイシャツの袖ボタンは閉める。 ワイシャツの下には体操服や、無地の白Tシャツなどの肌着を着る。 	
共通	スラックス	スカート
	<ul style="list-style-type: none"> ズボンにはベルトを着用する。黒の革ベルトで、ベルト穴やバックルが派手でないものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> スカートの長さは膝がかくれる程度とする。

(2) 体育時の服装・通学靴

- ・学校指定の体操服。靴は運動にふさわしいものとし、色は白・黒・紺・グレーを基調としたもの。紐も同様。

(3) 夏季の登下校時の服装

- ・6月1日～前期終了までの期間は熱中症対策として、体操服で登下校をしてもよい。
(ジャージは不可)

(4) 上履き

- ・学校指定のもので、かかと部分に記名するに記名する。

(5) 靴下

- ・色は、白・黒・紺・グレーのくるぶしが隠れるもの（派手でないワンポイント、ラインは可）とする。タイツ、ストッキングを着用する際には、靴下は履かない。
(レギンスなど足先まで覆われていないものは着用しない。)

(6) 防寒着、防寒具

- ・コートは、黒、紺、グレーの制服にあったもの（ダッフルコート、Pコートなど）とする。ジャンパー・ブルゾン・スポーツ用のベンチコート等は着用しない。
- ・ネックウォーマー・マフラー・手袋は華美でないものとする。

学ラン・セーラー服

- ・セーター・トレーナー・カーディガンは、黒、紺、白、グレーの無地（ワンポイント程度は可）とする。制服、ジャージの下に着用する。

ブレザー

- ・セーター・カーディガンは、黒、紺、白、グレーの無地（ワンポイント程度は可）とする。制服、ジャージの下に着用する。トレーナーは着用しない。

(7) 規定外の服装をする場合は事情を担任に届け出る。

- ・ワイシャツ、体操服等のすそは、すべてズボンの中にしまう。
- ・表に出さなければ、半袖体操服の代わりに白の無地Tシャツを着ても良い。
- ・ハイネックのアンダーシャツは着用しない。

3. 所持品

(1) 通学かばん

- ・一中指定バッグ（メインバッグ、サブバッグ）
- ・荷物が多い場合、エナメルバッグ等の使用を認めるが、一中バッグは必ず使う。
- ・カラビナは左右に1つずつまで可とする。
かばんにつける目印は1つまでとし、大きすぎず、派手でないものとする。

(2) 貴重品は持参しない。

- ・携帯電話や現金等は持ち込まない。やむを得ず持参する場合は、保護者と担任の理解の下、必ず朝、担任に預ける。
- ・不要物は基本的に預かり、原則保護者に連絡する。返却については保護者と相談。
- ・腕時計の着用は認める。ただし、体育の授業時ははずす。

- ・制汗剤は使っても良いが、無香料のものを使用し、使用方法に関しては公共のマナーをわきまえて使用する。自分で使用したものは必ず持ち帰る。
- ・水筒、ペットボトルはもってきて良い。ただし、中身は水、お茶、スポーツドリンクのみとし、休み時間等支障のない時間に飲んでも良い。ペットボトルはまわりにカバーをつけ、机の上などに放置しない。
- ・使い捨てカイロは使用しても良い。

(3) 持ちものにできるだけ記名する。

4. 頭髪・眉毛

- ・頭髪は、必要以上の加工をせず、清潔な状態に保つ。
- ※極端に長短のついた髪型にしない。 ※整髪料の使用はしない。
- ※髪は、前髪は目にかからないようにし、横・後ろは肩につく時はゴムで結ぶ。ゴムの色は黒、紺、茶とする。結ぶ時はお団子などにせず、一つか二つに結ぶ。
- ・眉毛を剃る・抜くなど、加工しない。

5. 式典での頭髪、服装（正装について）

式典での髪型や服装は、清潔感がとても重要です。髪型や服装はその人の印象を大きく左右し、式典という厳かな場にふさわしい態度や心構えを表すものでもあります。式典中に形が崩れたり、顔が隠れてしまったりすることのないよう、事前に整えておくことを心がけましょう。派手なアレンジや華やかな装いは控え、落ち着いた雰囲気や相手に与えられるよう、シンプルで整った髪型と正装で臨むことが大切です。一人一人が学校の代表であるという意識をもち、節度ある身だしなみで式典に参加しましょう。

「厳か」の意味：礼儀正しく、重々しい。威厳がある様子。

頭髪

- ・前髪は目にかけないようにする。
- ・横髪は耳にかける。横や後ろは肩につく時はゴムで結ぶ。
- ・前髪の横から髪の毛が出てしまう場合はピンなどでとめるとよい。
- ※式典で顔が隠れる髪型はふさわしくないとされています。
- ・結ぶ時は前髪の横から髪の毛が出ないように一つか二つに結ぶ。結ぶ際には耳より下の位置でまとめる。
- ・ゴムの色は黒、紺、茶とする。



服装（正装）

- ・靴下は、白のくるぶしがかくれるもの（ワンポイント程度は可）とする。タイツ、ストッキングを着用する際には、靴下は履かない。（レギンスなど足先まで覆われていないものは履かない。）
- ・校章をつける。